

斎藤龍鳳 さいとうりゅうほう、映画評論家。昭和二年一月十日東京府下北多摩郡武蔵野村吉祥寺生れ、四十六年二月二十五日歿（一九八一七）。筆名原龍次、斎藤音鳳。長野縣須坂中學校在學中の昭和八年、海軍飛行豫科練習生となり、翌年鈴鹿海軍航空隊に配属。二十年復員後須坂中の復學、二十一年附治大學法學部入學を一年足らずで退く。二十九年時局雜誌『丸』に入ると翌年倒産して失業。三十一年『内外タイムス』に入社し映画批評を擔當、爾後単なる映画評ではなく、政治・思想状況にまで踏みこんだ批評を書き添めるようになる（遺著『踏年譜』）。四十五年退社して週刊誌『映画評』、風浴ル。執筆。

著書『監獄』（昭和二十九年刊）、『遊撃の思想』（昭和四十年十一月二十五日一書房）、『武闘派宣言』（昭和四十四年四月二十日一書房）、遺著『なにが粹かよー斎藤龍鳳の世界』（昭和四十七年二月）（二十五日創樹社）。

